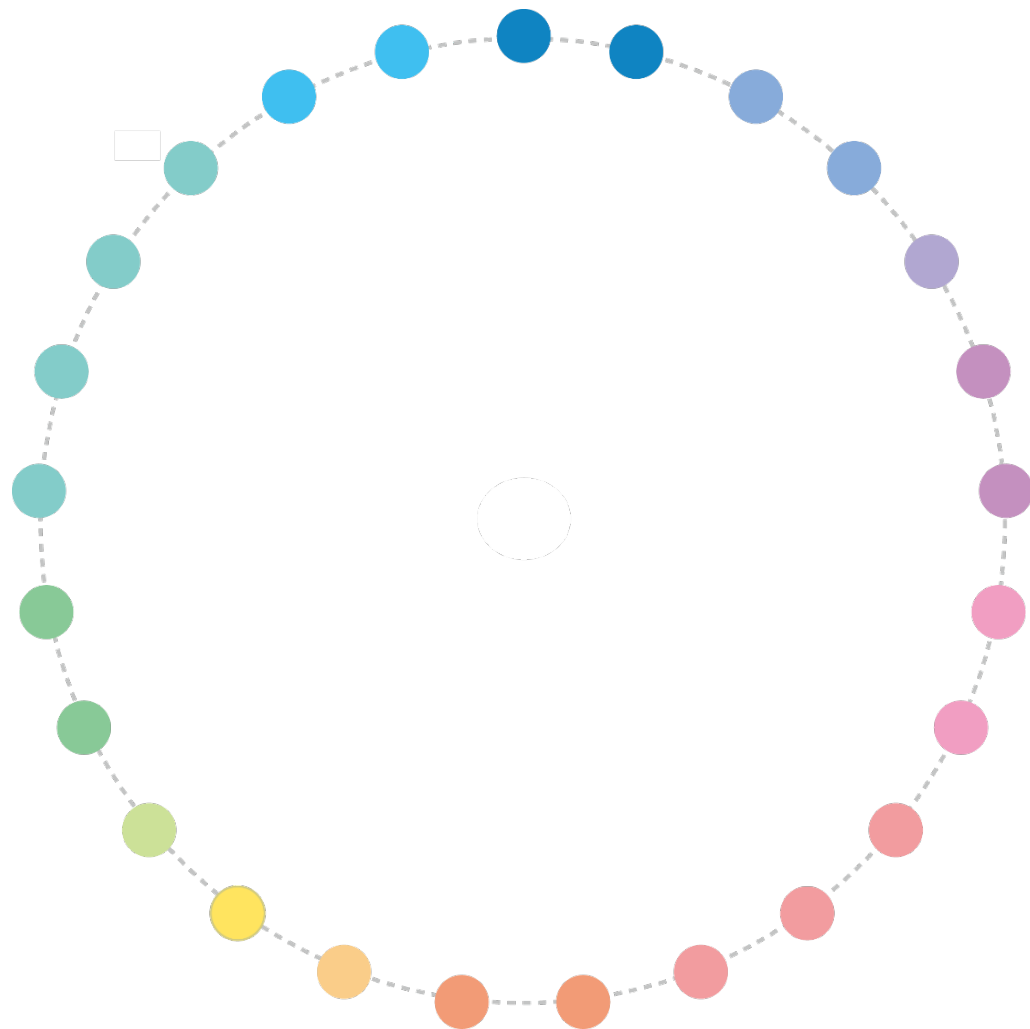


令和3年度 地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

部活動拠点⇔Pocca本部 オンライン接続による 文化系・地域部活動 実践報告



NPO法人 日本地域部活動文化部推進本部
(略称:Pocca)

01

NPO Poccaの概要

02

総論 ～ Poccaが考える文化系・地域部活動の在り方 ～

03

各論 ～ 令和3年度 部活動の実践報告 ～

04

ロードマップ ～ 中長期にわたる事業展開の構想 ～

- ◆ 地域に新たな文化系・地域部活動を創設 ⇒ 全国展開を推進
- ◆ 2021年1月に全国組織のNPO法人を設立
「日本地域部活動文化部推進本部」 (略称:Pocca)
Japan **P**romotion **O**ffice for **C**ultural **C**lub activities of the **A**rea
- ◆ 市民発の活動、民間NPOの企画立案 および 運営
(掛川市の事業ではない。受託事業ではない。)
自治体(文化振興部局)と協働、教育委員会・学校や民間企業との連携

◆ 目的：何のために？

文化部活動改革 ⇒ 2040年を目指し、全国の地方創生に寄与

◆ ねらい：何をするの？

文化・芸術・科学に親しみ、楽しみながら学ぶ

新しい概念による文化部活動の創造

◆ 構想：何を目指すの？

「部活動が全てでは無く、万能でもない」

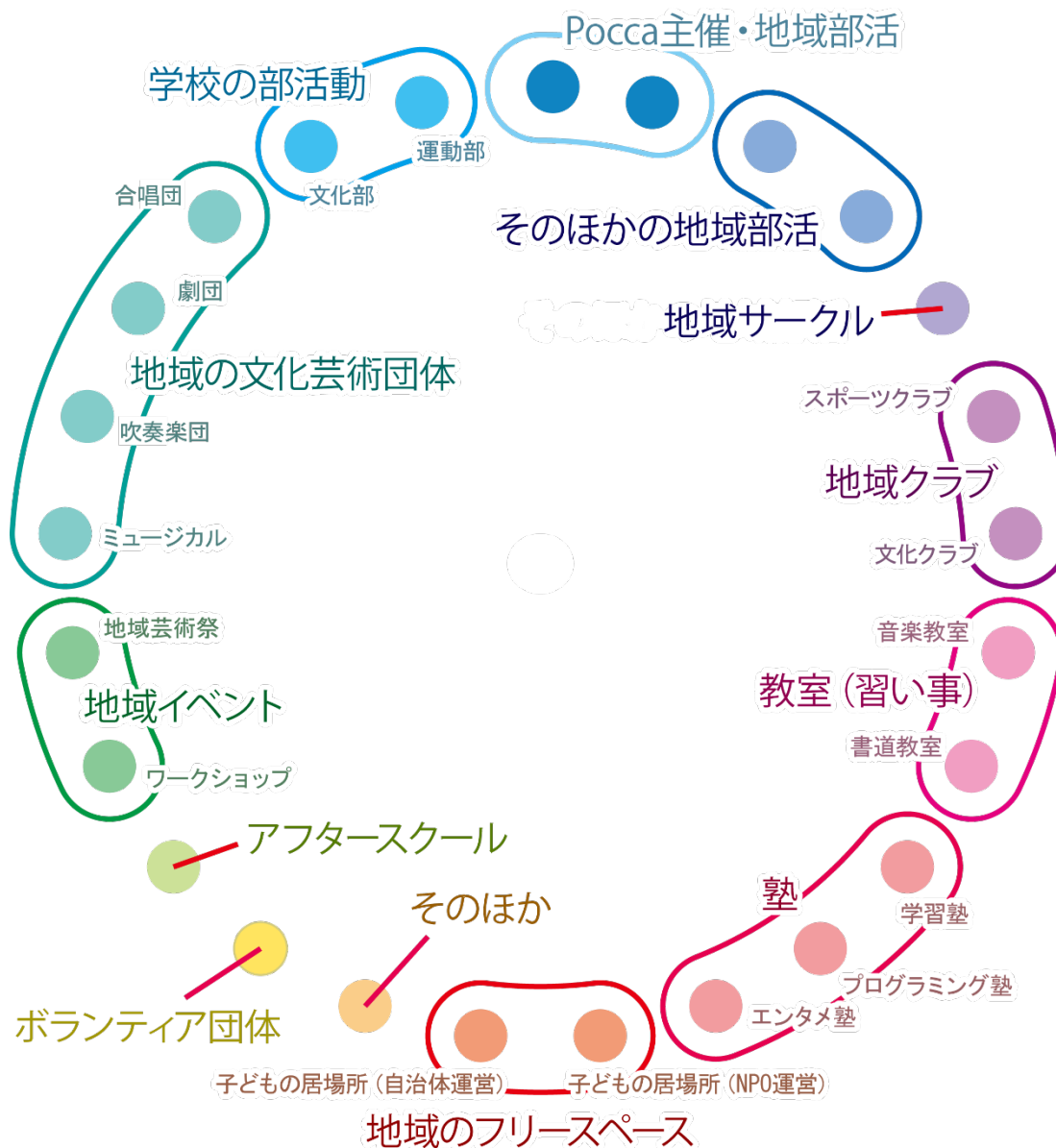
様々な文化系の団体が地域全体で子どもたちの受け皿を創出

01

NPO Pocca の概要 ③



様々な団体が地域全体で子どもたちの受け皿を創出



01

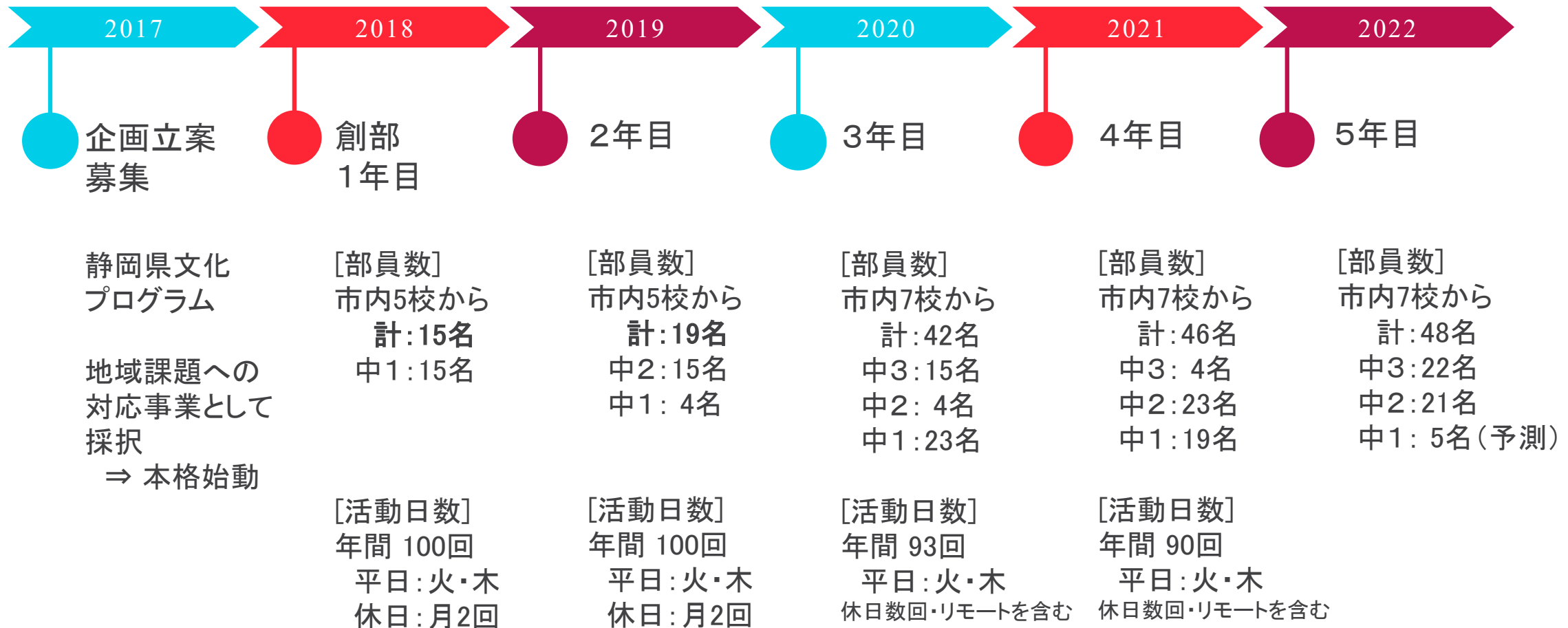
Palette について ~日本初の文化系・地域部活動~



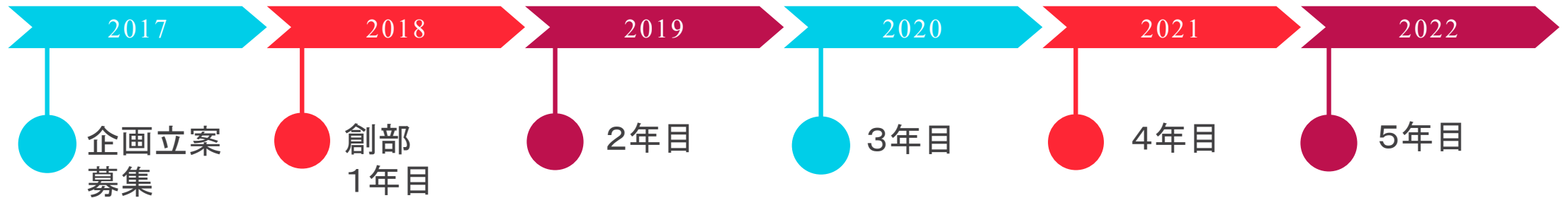
掛川未来創造部パレット

Palette
Since2018

◆ 地域部活・掛川未来創造部 Palette ①



◆ 地域部活・掛川未来創造部 Palette ②



[活動ジャンル]

音楽
演劇(ダンス)
放送

音楽
演劇
ダンス

表: 音楽、演劇、
ダンス、アート
裏: IT、舞台技術等

- ・表現
- ・制作
- ・運営

- ・表現
- ・制作
- ・運営

[運営体制]

部長・副部長制
(プロデューサー補佐)

部長・副部長制
(プロデューサー補佐)

プロジェクトチーム
体制

プロジェクトチーム
体制

プロジェクトチーム
体制

[指導者] (外部指導者、 アドバイザー等)

来訪指導 60回

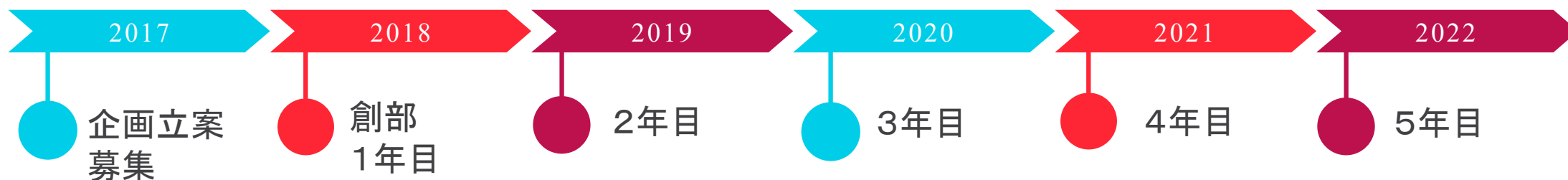
来訪指導 18回

来訪指導 2回
オンライン 8回

オンライン 8回
(来訪指導は無し)

拠点⇄本部
オンライン体制を
本格化

◆ 地域部活・掛川未来創造部 Palette ③



[Palette 予算]

100万円

200万円

200万円

180万円

90万円

80万円

[イベント等]

- ・設立記念式典
- ・募集説明会
- ・広報ツール制作

- ・部活動 100回
- ・講師指導 60回
- ・鑑賞・移動教室
- ・広報ツール制作

- ・部活動 100回
- ・講師指導 18回
- ・発信イベント 2回
- ・鑑賞・移動教室
- ・広報ツール制作

- ・部活動 93回
- ・講師指導 10回
- ・発信イベント 2回
- ・広報ツール制作

- ・部活動 90回
- ・講師指導 8回
- ・発信イベント多数
(+地域芸術祭)
- ・広報ツール制作

- ・部活動 90回
- ・講師指導 数回
- ・発信イベント3回
- ・配信企画 数回
- ・広報ツール制作

[助成・協賛]

静岡県文化プログラム

静岡県文化プログラム

静岡県文化プログラム

静岡県文化プログラム

文化庁
県(アーツカウンシル)
施設共催(会場費補助)文化庁
地元の信用金庫
施設共催(会場費補助)

[部費]

無料

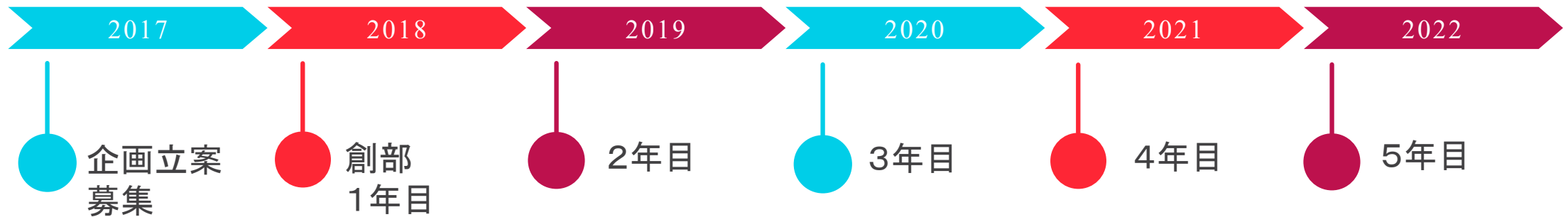
無料

無料

部費 1000円 / 月

部費 1500円 / 月

◆ 地域部活・掛川未来創造部 Palette ④



主催者

一般社団法人 ふじのくに文教創造ネットワーク
2010年創立、年5～10回、公演事業を制作運営
※地域部活(Palette)を主催運営 ⇒ 2020年夏 解散

Palette
任意団体
として
主催運営

NPO法人
日本地域部活動文化部推進本部
(Pocca)



目的

- ・音楽文化振興
- ・地域文化資源を活用した生涯学習環境の創造

- ・部活動改革
- ・地域との協働による地方創生への寄与

特徴

- ・各表現ジャンルの外部講師の直接指導プログラム
- ・プロアーティストとのイベントでの共演
- ・プロアーティスト演奏の鑑賞や交流
- ・芸術公演等への参加(移動教室)

- ・新しい概念の文化部活動の構築
- ・表現、制作、運営を自由に横断的に楽しみながら体験が可
- ・拠点⇄本部をオンライン接続

◆ 学校教育 = 社会に出る前の 準備学習 の場

◆ Poccaが考える 学びのねらい

中学校学習指導要領に基づき、

生徒の「自主性・自発性」を最大限に尊重

「文化（芸術を含む）、科学等に親しみ」ながら

「責任感、連帯感の涵養」に資する活動

とりわけ、大切に考えていることは、

「**教育課程との関連が図られるように留意**」

- ◆ Poccaが考える「地域部活」の定義
 - ⇒ 地域(と共に発展する持続可能な)部活

- ◆ 子どもたちの自主性・主体性、興味や好奇心を最大限に尊重
 - ⇒ 子どもたちによる「部活動の自治」(2021年度12月から本格実施)

- ◆ 「地域振興」「地域文化振興」との協働 ⇒ 地域芸術祭などへの参画
 - ⇒ 文化・芸術・科学が持つ力、特性を用いた新たなアプローチ
 - 近年、各地で注目され、取り組みが始まっている
 - アートプロジェクト的な活動 (新しい概念の文化部活動)

◆ 新たなアプローチとは？

文化・芸術・科学の中から興味があるジャンル(複数可)を、楽しく、ワクワクしながら、テーマを自ら考え、他者と協働し子どもたちが新たな価値を自ら創り上げていく活動

- ・アーティストのように考える(思考)
- ・デザイナーのように考える(思考)
- ・プログラマーのように考える(思考)
- ・科学者、数学者のように考える(思考)

⇒ STEAM教育の考え方や方向性と合致

◆ 新たなアプローチで、どんな学びが得られるのか？

定型がない、自由な発想の中でアートプロジェクト的な活動の実践を通して、以下の例のような経験が可能。

- 普段は認識できなかった新たな気づきや発見
- 決まった型にとらわれない柔軟な思考
- 一つのことを形にする時、色んなアプローチがあることを知る
- 日常の自分では経験できない挑戦ができる
- 成功も失敗も、どちらも学びであり、成果を生み出せる
(自らトライできる環境、失敗を許容できる活動)

◆ 評価プログラム(成果を示す尺度)の開発と研究の継続 (2022年度 本格着手)

① 子どもたちの変容、自身の成長への認識

(メタ認知、非認知能力、コンピテンシーをはかる指標)

② 地域の協賛企業の視点、地域部活動への期待

(地域振興、地域文化振興、地方創生の観点から)

③ 部活動拠点スタッフ、ならびに、Pocca本部 の活動の検証、改善

⇒ これらの評価・検証結果を客観的な数値で示し、
教育委員会、学校、自治体関係機関等にそれぞれ報告を行う

◆ 特に重要に考えている教育 (2022年5月現在)

◇ シティズンシップ教育

スローガン「部活動を自分たちで創る！ 社会も自分たちで創る！」

◇ プロジェクト・マネジメント (プロジェクトチーム体制を採用)

「FIDS」 Feel(感じる)⇒Imagine(想像する)⇒Do(行動する)⇒Share(共有する)のサイクル

◇ STEAM教育 (2022年度から活動に組み込む計画)

Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学・ものづくり)、
Art(芸術・リベラルアーツ)、Mathematics(数学)

例：アートとテクノロジーが融合したメディアアートへの挑戦 など

◆ 不易 ～(時代が進んでも変わらない) 普遍なるもの～

- ・子どもたちファーストの精神
- ・人として、普遍的な学び (思いやり、真心、誠実、信頼、公德心 など)
- ・自由と責任の自覚
- ・人権、個人の尊厳の尊重

◆ 流行 ～(時代の進展と共に) 変化するもの～

- ・社会の変革、予測不能な変化への対応
- ・文化、芸術、科学を活用した 新たなアプローチ (例:メディアアート など)
⇒ 常に変化する好奇心や興味への対応、柔軟な発想、寛容な心を育む
- ・新しいテクノロジーの活用
- ・人口減少、税収不足が予測される未来への対応 (税金に依存しない形態の確立)

◆ 実現させたいこと「人材と資金の調達」

[人材]

- ・子どもたちが自ら考え、主体的に行動すること（大人は安全管理の見守り役を徹底）
- ・顧問は（辞書の通りの）相談役に徹する。
- ・企画プロデュース力を持つ学生の輩出（地域部活の維持にはプロデューサーが必須）
- ・NPO法人の強みを生かし、高校生・大学生によるNPO活動に着手（2023年～）

[資金]

- ・収入に応じた規模（活動回数、内容、人数）にダウンサイジング（コンパクト化）
- ・「部活動拠点」＝会場、通信環境、安全管理スタッフに係る費用で運営可
- ・「Pocca本部」＝専門家のアドバイス（ワークショップ等）、発信イベントや配信、各拠点で活用できる汎用的な広報ツールの制作を担当

◆ Pocca主催の地域部活動 特徴

- ◇ 表現・制作・運営 各ジャンルを自由に選択、ジャンルの横断が可能
- ◇ 表も裏もない、上も下もない、レギュラーも補欠もない ⇒ **円形組織**
- ◇ 参加・離脱の自由、結社・解散の自由
- ◇ 活動内容 (Paletteの自主活動) は、毎回 **基本ゼロベース**で企画制作
- ◇ **直接現場に指導者が入って、表現や技術の指導は行わない。**
(年数回、全国で活躍中の専門家の**オンラインワークショップ**を実施)
※現場に入る大人は、安全管理スタッフ(見守り係)のみ。他は本部と接続。

詳細は
Palette
募集チラシ
PDF参照



◆ 部活動拠点・Palette ⇔ 本部・Pocca オンライン接続を実証試験

Palette 会場：掛川市美感ホール（掛川市亀の甲）

Pocca 会場：NPO法人 Pocca 1F多目的スタジオ（掛川市家代）

◆ 接続テスト期間：2021年12月～2022年3月の間 5回実施



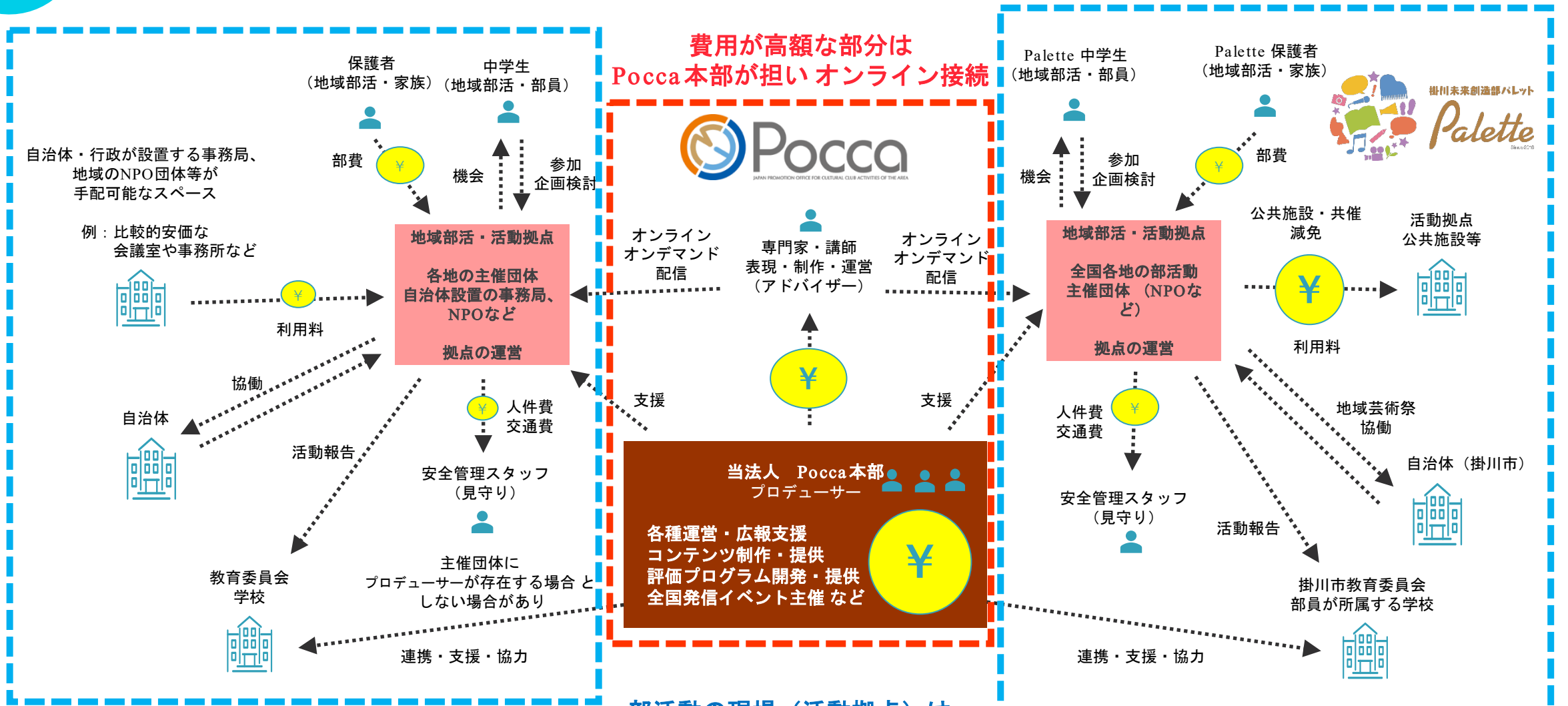
美感ホール（本部と接続）



本部：ホール中央・全体と
舞台袖・個別用とZOOMで接続

※そのほかの活動日は、美感ホール舞台袖に仮本部ブースを設置、ホールPCと接続して試験

各部活動拠点とPocca本部の連携 および 費用負担



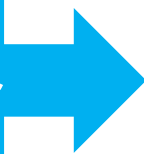
部活動の現場（活動拠点）は、現場で活動に係る最低限の費用（会場費、安全管理スタッフの人件費・交通費、通信環境の整備を担当すれば運用可能な仕組みを構築

◆ 地域芸術祭「かけがわ茶エンナーレ2020+1」への参画

(市文化振興課から依頼を受け、街づくり芸術祭のアートプロジェクトへの参加)

- ◇ 2021/10/16 オープニングセレモニー企画制作、MC、スタッフ参加
- ◇ 2021/10月下旬 芸術祭出展のアーティストの創作企画に参加、
展示会場での撮影参加、映像配信
- ◇ 2021/10～11月 オリジナル企画の情報番組のライブ配信(計8回)
※うち3回、外部講師のオンラインワークショップに参加・配信

YouTube
ドキュメント
映像公開



▲ 10/16 オープニングセレモニー・ドキュメント映像



▲ オンラインライブ配信番組制作・ドキュメント映像



◆ 地域部活カンファレンス & インспекション2022

実施日時： 2022年2月24日(木) 16～19時

Pocca本部よりオンライン配信

事業内容： 有識者の先生方によるPocca事業の
検証会議 と 通常のPaletteの活動の
オンライン見学会

視 聴： 都道府県教委、市教委指導主事 ほか
(北海道～沖縄まで出席、ライブ配信を視聴)

令和3年度 文化庁 地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業
変更



子どもたちのニーズに沿った活動を地域に新設する事業の
全国展開プランとシステムに関する検証会議 及び
日常的な地域部活動(テレパカツ=ZOOM)見学会 & ZOOM質疑応答



オンライン
開催

地域部活カンファレンス&インспекション 2022





WEB



Pocca分
紹介映像

2022年2月24日(木) 16時 開会・配信開始 (19時閉会)
オンライン開催 ★3部構成(詳細は裏面を参照)

※ コロナ感染拡大の影響により、地域部活動の会場(掛川市
美穂ホール)での会議出席および見学会は中止、オンライン
での開催に変更になります。予めご了承ください。

YouTubeライブ配信
通常活動映像&質疑応答(ZOOM)併用式

オンライン視聴のご希望は、Pocca事務局 (info@pocca.jp)宛てに 前日2月23日までに お申し込みください。
 ※お名前、所属機関・団体、部署名、人数、ZOOM質疑応答への参加希望 等、必要事項をご記入ください。お申込みは代表者1名で結構です。
 事務局から返信する受付完了通知のメールに、配信URL および ZOOM参加のMTG ID・パスコードをご連絡します。

主 催： 特定非営利活動法人 日本地域部活動文化部推進本部 (略称:Pocca)
 後 援： 静岡県 静岡県教育委員会 掛川市 掛川市教育委員会

◆ 公開映像：地域部活カンファレンス&インスペクション2022

[TIME INDEX] [0:00:00](#) 検証会議 出席者プロフィール [0:00:15](#) Pocca本部 会場風景

《はじめに》 [0:01:51](#) 開会の挨拶 [0:02:38](#) Paletteの活動動画

《第1部 グリーティング》 [0:06:42](#) ごあいさつ（文化庁 学校芸術教育室 所室長）

《第2部 カンファレンス》 [0:14:26](#) ◇ 2021年度 主なPocca事業の報告

[0:50:02](#) ・オンラインワークショップ報告（抜粋）

◇ 会議出席者 検証コメント

[1:02:39](#) ・大坪圭輔（武蔵野美術大学教授）

[1:11:42](#) ・長沼豊（学習院大学教授）

[1:17:36](#) ・鷲山恭彦（東京学芸大学名誉教授）

[1:29:10](#) ・由井一成（早稲田大学講師）

《第3部 インスペクション》 ・Paletteテレブカツ見学

[1:46:58](#) ・質疑応答（Paletteメンバー6名参加）

《おわりに》 [2:15:59](#) ◇ まとめ（出席者からのコメント）

YouTube

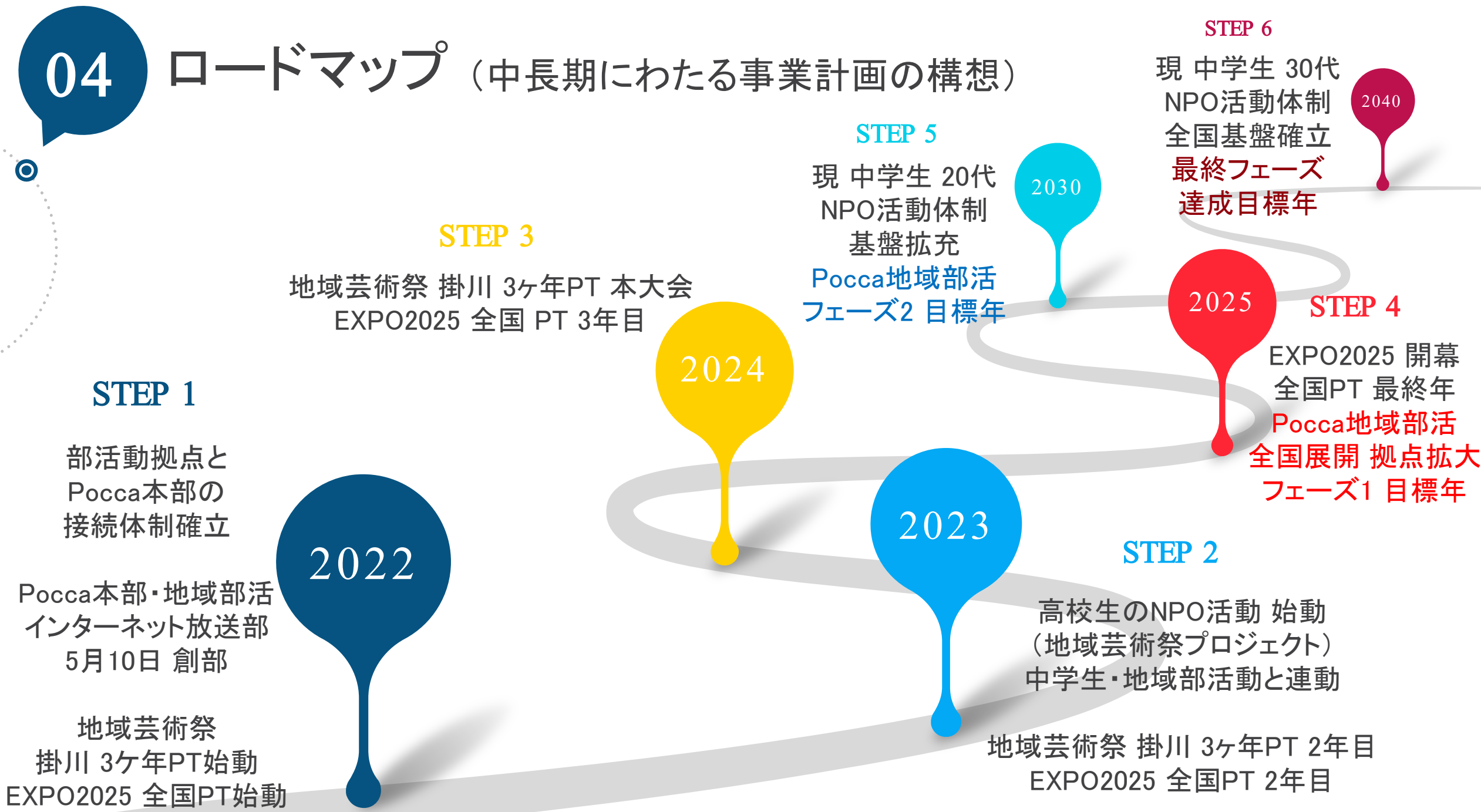
公開映像



第3部 インスペクション
ZOOMでの質疑応答（回答：Paletteメンバー）

04

ロードマップ (中長期にわたる事業計画の構想)



地域（と共に発展する持続可能な）部活



すべては未来を生きる子どもたちのために

令和3年度 地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業



部活動拠点⇔Pocca本部
オンライン接続による
文化系・地域部活動
実践報告

ご清聴ありがとうございます。
ございました。

